

平成26年度 学校評価表

様式1

a ミッション	<スクールミッション> (1) 授業改善を中心とした基礎学力の定着 (2) 幼・保・小・中連携を中心とした生徒指導の推進	aビジョン 夢と志を育む 因北小教育の創造 かしこく やさしく やりぬく子の育成	めざす学校像 ◆子どもが安心して通える学校 ◆保護者・地域から信頼される学校 ◆元気で明るい学校 ◆美しい学校
	信頼される学校づくり「自信と安心」 ○自分に自信をもって生きるための基礎学力を定着させ、安心して学べる環境を整えることを通して、将来への夢や志を抱く子どもを育成する。	尾道市立因北小学校	

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明 ◎成果 ●課題	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
確かな学力の向上 ・基礎・基本の定着を図る教育活動の推進 ・基礎・基本定着状況調査県平均2ポイントアップ ・全国学力調査2ポイントアップ	漢字・計算の力の向上	・基礎基本の学習が定着するチャレンジタイムの実施 ・家庭学習の手引きの作成	学期末・学年末の漢字・計算テストで、70点以上の児童の割合を90%以上達成	90%	83%	92%	102%	A	◎漢字・計算力を高めるプリント学習の徹底 ◎チャレンジタイムの効果 ・学期末漢字テスト70点以上 93.8% (1学期比+16.1%) ・学期末計算テスト70点以上 90.0% (1学期比+ 1.1%) ◎「やらせ切らぬ」家庭学習の徹底 (共通認識) ●チャレンジタイム実施内容・方法の研修継続	3	0	0	・講師として陰山英男先生を招聘し、講演会や研修を実施できた点は有益である。 ・今後も多様な方法で、先生方の指導力を高める取組が継続されることを期待している。	○全校で統一した取組の推進 ・定期的な校内研修を実施し、学級や学年間で取組内容や実施方法等に差が生じないようにする。 ○取組に対する定期的な評価 ・改善すべき点は必ずあるという視点で見直しを行う。
	国語科・算数科授業における「思考力・判断力・表現力」をつける授業の創造	・学習指導要領に示された言語活動例・算数的活動例を取り入れた授業の実施 ・ノート指導	学期末・学年末の「読み取り」テストで、80点以上の児童を90%「数学的な考え方」テストで、80点以上の児童を低学年80%、高学年60%	90%	79%	読取り82% 考え方低学年89% 高学年59%	100%	A	◎研究授業での「目標を達成するための言語活動の設定」の結果 ・学期末「読みとり」テスト80点以上81.8% (1学期比+16.7%) ・学期末「数学的な考え方」80点以上 低学年88.9% (1学期比+ 5.1%) 高学年58.6% (1学期比+10.6%) ◎研究便りの活用 (目指す授業像の確認・共有化) ◎適切に自己表現できる児童の増加 70.1% (1学期比+ 4.7%) ●研究便りの有効活用 (課題の提示)	3	0	0		
豊かな心の育成 規範意識向上のための生徒指導の推進 (因北小学校「7つの約束」の定着)	①「廊下階段を静かに歩く」 ②「無言掃除をしよう」 ③「気持ちのよいあいさつをしよう」の徹底	・児童会活動、委員会活動の充実 ・教室への掲示の実施と目標の意識化	教師の見取り・児童アンケートの実施と委員会点検における肯定的評価の割合	80%	教師78% 児童81% 委員会77%	教師78% 児童79% 委員会82%	100%	B	◎児童会重点目標＝「早寝・早起き・朝ご飯」「掃除」 ◎安全委員会による点検、朝会での肯定的な声かけ、重点目標の確認 (月初めに毎月) ◎毎月の自己点検 (チェックリスト) ◎学校訪問での評価・指導内容をキーワード化 ○取組の結果【目標値80%】 (1学期比) ①廊下・階段の歩き方 ・教師66.7% (-8.3%) ・児童68.8% (-8.1%) ・委員会81.7% (+5.2%) →●児童が、自分で気をつけてできるようにする必要性 ②掃除 (11・12月) ・教師88.9% (+13.9%) ・児童79.1% (-1.5%) →●掃除のレベルアップの必要性 ③あいさつ 【目標値80%】 (1学期比) ・教師83.3% (-6.7%) ・児童87.6% (-1.3%) ・保護者80.1% (+11.0%) →●あいさつのレベルアップ 「ありがとう」をきちんと伝える必要性 ④早寝・早起き・朝ご飯 (9・10月) 保護者85.1% (+4.0%) →●継続的に家庭へ協力を求める ⑤はきもの揃え・児童 80.6% (-3.2%) ・保護者 39.4% (+5.4%) →●学校と家庭が協働して取り組む必要性	2	1	0	・短期経営目標の「気持ちのよいあいさつをしよう」は、具体的な児童のイメージが分かりにくい。 「明るい笑顔のあいさつ」のように具体的な姿を決めた方がよい。 ・大人が率先して返事をしたりあいさつをしたりする必要がある。子供の姿が変わることで、保護者が変わる。 ・地域であいさつを児童全員ができるようになること、地域の学校に対する信頼度が高まり、地域からの協力も得やすい。一人でもあいさつをしない児童がいると、不評が広がってしまう。すべての児童にやりきらせる指導が必要である。	○「廊下・階段は歩く」ことを、朝会や各学級で粘り強く指導 ○掃除をがんばる児童への肯定的声かけ ○掃除のレベルアップ ・隅々まで行う掃除、無言掃除等 ○あいさつのレベルアップ ・立ち止まってあいさつをする児童を増やす ・「ありがとう」を進んで言う ○生徒指導だよりによる学校の取組の紹介 ○チェックリストによる職員の指導の振り返りの充実
	生徒指導推進体制の確立 (生徒指導チェックリストから、13項目の徹底)	・生徒指導部会の開催 月1回 ・校内生徒指導研修の実施 月1回 ・共通理解による生徒指導の推進 (問題行動の分析)	生徒指導チェックリストの肯定的評価の割合	90%	98%	98%	109%	A		2	1	0		
健やかな体の育成 基礎的な体力、運動能力の育成を図る教育活動の推進	基礎的な体力・運動能力の育成	・基礎体力を高めるサーキット運動の実施 ・外遊びの推奨	新体力テストの長座体前屈・50m走の記録が、平成25年度県平均に達した児童の割合 (6月・11月・2月実施)	各80%	長座体前屈49% 50m走61%	長座体前屈62% 50m走68%	81%	B	◎サーキットトレーニング (体育授業) 及びストレッチ運動 (体育朝会) の実施 【体力テストの課題項目：長座体前屈、50m走】 【県平均に達した者】 ・長座体前屈61.9% (+13.2%) ・50m走67.8% (+7.2%) ◎5年生：長座体前屈が県平均に達した者 (男子+47.4% 女子+41.8%) ◎全学年が週1回外遊びを実施 ◎なわとび大会 (今年度新規行事) に向けて、なわとびをする児童が増加 ●特定の学年に体力の課題あり	2	1	0	・朝食を食べないや学習や運動など何をするにしても力が出せない。また、朝食の量が少ない子どもが多いようなので、しっかり朝食を食べるようにさせて欲しい。 ・メディア接触 (テレビやゲームをする) 時間が長く、夜遅くまで起きていて、起床時刻が遅くなり、朝食を食べずにまたは少ししか食べないで登校するといった生活リズムが悪循環になっている。親子でゲームの時間の約束を決め、歯止めをかける必要がある。 ・ここ数年体力テストの結果が悪く、課題が多くあったが、改善傾向にあるのでよかった。今後の取組に期待したい。	○サーキットトレーニングの継続及び内容の修正 ○体育的行事と体力づくりの関連性を意識した取組 ○外遊びや体力づくりなど運動に係る環境整備 ○学級遊びを週2回実施 ○ていねいに歯をみがく指導の継続 ・保健指導、はみがき点検の徹底 ○う歯の早期治療 ・保健指導と受診勧告による治療率の向上 ○家庭との連携による更なる生活習慣の定着 ・生活習慣アンケートの実施 ・ほげんだよりによる情報発信 ・個別指導が必要な児童への支援
	基本的な生活習慣の定着	・一日3回の歯磨きの定着 ・家庭への啓発と生活振り返りの実施	給食後に歯みがきを実施した児童の割合	95%	94%	95%	100%	A	◎1日3回の歯みがき…朝87.3%、給食後94.9%、夜90.5% (学校の取組により家庭での実施率増加) ◎1日3回歯をみがく児童80% (H25年比 +10%) ◎ほげんだよりの活用と受診勧告 (家庭での歯みがき習慣の定着、受診向上) ●特定の児童に歯みがき習慣が未定着 (個別指導、保護者連携が必要)	3	0	0		
信頼される学校づくりの推進 信頼される学校づくりの推進	保護者・地域の連携の推進	・学校経営の改善に生かすための各行事等でのアンケートの実施 ・地域人材を活用した学習の実施	保護者、地域の方のアンケートの肯定的評価の割合	80%	95%	94%	118%	A	◎音楽発表会アンケート回収率・・・86% (H25比+2P) ◎満足度・・・98% (H25比1Pアップ) ◎2学期学校評価アンケート回収率・・・90% (H25比±0) ◎満足度・・・94% (H25比±0) ◎地域人材の活用・・・計画通り実施 ●アンケートでの課題項目の改善を目指す。	3	0	0	・生徒指導上の取組や児童の生活習慣の改善を進めていくために、保護者が児童の手本となる行動を示すことができるように家庭との連携をすすめてほしい。 ・前回意見していた校門周りの環境整備について、すぐに取組み改善されている。今後も前向きに取組を進めてほしい。 ・地域の大人が手本となるように地域の区長会でも話していきたいと思うので、今後も学校・家庭・地域の三者が協力していけるように取組んでほしい。	○めあてをはっきりさせた各行事や取組の実施 ○保護者アンケートの満足度とアンケート集約率の向上 ○各通信やホームページによる学校の取組の情報発信 ○迅速、確実な家庭連携の実施 ○地域人材を活用した授業の計画的実施
	学校情報の積極的な発信	・学校、学年だより等の月1回の発行と内容の改善・充実 ・学級懇談会の内容の充実	保護者アンケートの肯定的評価の割合	80%	90%	90%	113%	A	◎学校・学年・学級便りを毎月発行。(子どもの様子や教育方針を発信) ◎ホームページの更新 (教育目標・教育内容、行事・児童の様子を公開・発信) ◎学校評価アンケート「情報公開」満足度90.5% (H25比+2.9P) ●学校の取組が保護者に伝わっていくように取組の一層の充実を図る。	3	0	0		

【自己評価 評価】  
 A: 100 ≤ (目標達成)  
 C: 60 ≤ (もう少し) < 80  
 B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100  
 D: (できていない) < 60

【外部評価】 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。ハ: わからない。